



■宮城野区日の出町にある「東日本物流センター」には、冷凍・冷蔵・常温という3タイプの、2,000坪の倉庫を備え、きめ細やかな物流サービスを行う。■貨物の仕分けはハンドスキャナーと骨伝導イヤホン、スマートフォン型端末がセットになった「ボイスピッキングシステム」を使って行う。■商品の温度帯・特性に応じてタイプの異なるフォークリフトが常時15台ほど稼働。■6年前よりスタートした国際物流事業では、海上コンテナの船予約・輸配送・通関手配等ワンストップサービスを提供している。■新年会や歓迎会、芋煮会などの懇親会も実施。先日はキリンビール工場見学へ。■「NEXT10プロジェクト」は福利厚生、広報、教育、環境整備4部会の代表者が集まり、今後の方向性を話し合う。

TOP MESSAGE

「実現できそう」ではなく「面白そう」を大切に

かつての物流は、「荷主から依頼が来るまで待っている」受動的な仕事でした。しかし今は「この方法を使えば、こんな場所に販売できる」という、提案型の仕事になりつつあります。私たちはそこでどんなことができるかを日々考え、フットワーク軽く実現する「ワクワクする物流企業」でありたい。たとえ突拍子もないアイデアであっても「無理だから」と切捨てて捨てるのではなく、「それ、面白いかも!」と育てる視点を大切にしたいと考えています。まっさらで柔軟な発想を持って、新しい物流の未来にワクワクしてくれる方をぜひお待ちしております。

既存の枠を打ち壊す
新しい仕組みを作りたい!



profile
代表取締役社長 大友 聡



会社情報

- 設立 2007年11月
- 代表 大友 聡
- 資本金 1,000万円
- 従業員数 40人 (男25人/女15人)
※パート、アルバイト含む

〒981-8006
仙台市泉区黒松1-1-27
TEL/022-728-0621
FAX/022-342-0197
https://si-logi.com/

求人情報

- 初任給 大卒 205,000円〜
- 福利厚生 賞与2回(前年度実績)、昇給年1回、各種社会保険、退職金制度、慶弔金、新医療保障保険、楽観観戦チケット、資格支援制度、育児・介護休暇、産前・産後休暇、社内親睦会、健康診断、永年勤続表彰
- 休日休暇 年105日、リフレッシュ休暇2日、有給休暇、慶弔休暇
- 職種 総合職、国際貿易事務、一般事務、現場作業スタッフ
- インターンシップ受け入れ/あり ■大学生アルバイト受け入れ/あり
- 採用担当者連絡先/TEL022-355-5161(総務部 大友)
✉m-ohmoto@si-logi.com

CORPORATE RESEARCH

- 会社案内請求
- 自社説明会
- 会社見学

採用ページはコチラから



マイナビ リクナビ

採用までの流れ

- ① エントリー
- ② 会社説明会
- ③ 面接
- ④ 内定



エス・アイ・ロジ株式会社

物流・倉庫業、3PL事業

file 08

世界がマーケットになる！ 物流で切り拓く、新しい未来

商品を手にする
仕組みを支える「物流」

「物流」とは、端的にいえば商品を集めて倉庫にストックし、発送するものをピッキングし、宛先ごとに仕分けをして発送・配送する、という仕組みそのものことだ。この仕組みの安定があつてこそ、スーパーでは生鮮品を仕入れて販売することができ、工場では材料を仕入れて製品をつくるといった仕事成り立つ。そして私たち消費者は、商店やECサイトを通じて商品を手にすることができるのだ。

『エス・アイ・ロジ』は、特に外食・ECサイトを中心とした総合物流を担う企業だ。日の出町の「東日本物流センター」に、常温・冷蔵・冷凍という3つの温度帯の倉庫を構え、きめ細やかな輸送で順調に売上げを伸ばしている。特に近年では「東北の優れた生産物を世界へ」という視点から、国際物流にも着手。同時に「物流のコンサルティング」である3PL事業もスタートさせ、「海外に向けて商品を販売したいが、ノウハウがない」という小規模事業者をサポートしている。

「物流で何ができるか」を日々考え、実現していく

ひと昔前までは物流といえば「倉庫での力仕事」というイメージがあつたが、現在はフォークリフトの機能性が上がり、さらにIT化が進んだことで、女性でも活躍できる環境になつている。大友社長は次のように話す。「物流業界には今、アイデアの余白がたくさんあります。例えば小規模な生産者が小ロットの商品を遠くに届けるために、どんな方法があるか。倉庫のオペレーションを効率化するために、何をすればいいか。小さなイノベーションが日々起きています。業界なのです」

同社が「次なるイノベーション」を起こすためにスタートさせたのが「NEXT10プロジェクト」だ。これは「自分たちで次の10年を創る」を理念に部会を立ち上げ、それぞれの部会代表者がランチタイムを使って、今後の方針を話し合う場だ。

世界中から欲しいものを気軽に購入し、小さな製品を世界に向けて販売する。同社が見据えるのは、そんな「物流の新しい未来」だ。